

社会的投資の実施団体、黒字決算により 5年間の第一フェーズを終了。第二フェーズへ。

社会的課題を解決するための企業活動に取り組む「社会起業家」が世界中で注目される中、社会起業家の活動を投資と経営支援などを通して応援する社会的投資機関も、世界各所でその活動を活発化しています。2013 年にはG8で、英国のキャメロン首相がインパクト投資タスクフォースを立ち上げ、日本にも昨年、諮問委員会ができました。

社会的投資、特に社会課題の解決に取り組むベンチャー企業への直接投資は、マイクロファイナンス投資などと比較すると歴史も浅く、ノウハウも確立されていない分野です。ARUN 合同会社はこの分野に日本ではじめて取り組み、設立から5年間の間に110人の個人と1法人から、1口を50万円として計7700万円を集め、カンボジア5企業、インド1企業に対し、商流投資、融資、エクイティ投資など様々な投資手法で社会的投資の実践を行ってきました。投資先のベンチャー企業は、農業、保健医療、雇用創出、女性のエンパワーメントなどの課題に取り組む革新的なビジネスにより、カンボジア、インドの貧困層の生活向上に役立っています。またその間に、独立行政法人国際協力機構（JICA）のBOP領域や開発効果評価に関する受託調査も実施してきました。

2014 年末の決算は黒字になる見込みで、5年間の第一フェーズを終了するにあたり、出資者への返金額もプラスとなる予定です。

2015 年 1 月からは、投資先のベンチャー企業への経営支援の幅を広げ、日本企業とのマッチングなどにも力を入れる他、姉妹組織である NPO 法人 ARUN Seed での活動も広げていきます。社会的投資の黎明期に関わることに意義を感じて参加した出資者（パートナー）は、本業を別に持つビジネスパーソンが多く、徐々に参加者・関心者は広がっています。今後の活動にもぜひご注目ください。

参考：出資者（パートナー）へのアンケートで、回答者の 8 割以上が社会的投資の新しい仕組み、プラットフォーム構築に関与できたと実感。8 割が社会的投資の実践に関与し、投資先事業に対する知見を習得したと回答しています。

<コメント抜粋>

- ・投資を通じて実際に社会的事業の拡大や従業員の雇用などの効果が見えた。
- ・現地の人々が何をどのような形で望んでいるか、以前よりは理解できた。
- ・投資先の成長、成長可能性が垣間見られた。
- ・リスクを取って真剣に社会的投資の必要性を訴えるコミュニティに関わったことを誇りに思う。
- ・ネットワークの重要性を改めて感じた。限られた時間的、人的資源の中でも魅力あるミッションのもとに人が人を繋ぎ、それぞれの専門性を持ち寄ることでものごとを前に進めることを体感したように思う。

<ARUN 合同会社概要>

【代表】 功能聡子 【設立】 2009 年 12 月 21 日【資本金】 500 万円
【事業内容】 途上国の人々のエンパワーメントと機会創出／
参加型の社会的投資プラットフォーム構築
【URL】 <http://www.arunllc.jp/>

<本件に関するお問い合わせ>

ARUN 広報担当 板橋
TEL : 03-4520-5417
E-mail : info@arunllc.jp